

# アルテピア

社団 法人 北海道美術館協力会

札幌市中央区北2条西17丁目 TEL・FAX 011-644-4025

<http://www.artepia.or.jp>



エドワルド・ムンク《月光》

1895年 ドライポイント、アクアチント・紙 31×25.3cm (北海道立近代美術館蔵)

エドワルド・ムンク（1863－1944）は北欧ノルウェーを代表する画家。オスロ美術学校に学んだ後1889年パリに留学。印象派の影響を強く受け、ゴーガン、ゴッホ、ロートレックらとも交友し、独自の作風を形成した。その後ベルリンに移住、世紀末の退廃、不安、孤独、憂愁の諸相をテーマに《病める子》、《思春期》、《叫び》など、よく知られた傑作を数多く生み出す。版画は1894年から手がけ始め、絵画と同じ主題やモティーフを取り上げ、銅版、石版、木版など多彩な技法を駆使して版画の表現を革新する斬新な作品を制作し、ドイツ表現主義の画家たちにも多大な

影響を与えた。

この作品はムンクと懇意の作家ゴールdstainをモデルとしているが、1889年、パリ滞在中に世を去った父親の死を嘆き悲しむムンク自身の姿をも示している。ムンクは、父の死の知らせを受け取るのが遅すぎて葬儀のために帰郷することができなかつた。月光が窓の仕切りを通過し、部屋の中に重々しい十字架の影を落としているが、そこには、父への哀悼の念と、その死に目に立ち会えなかつた自責の念が込められている。

(北海道立近代美術館学芸第一課長 佐藤幸宏)

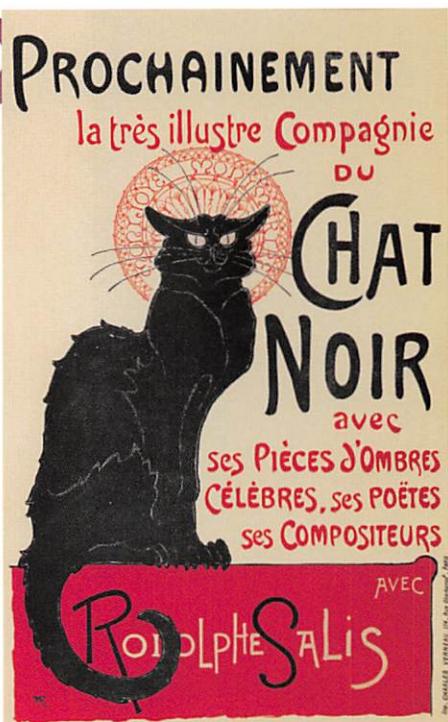
＜函館美術館開館25周年記念＞

# 陶酔のパリ・モンマルトル 1880-1910

黒猫 シャ・ノワールをめぐるキャバレー文化と芸術家たち

LE CHAT NOIR : Entertainment, Art and Culture in Paris 1880-1910

北海道立函館美術館 学芸課長 地家 光二



アレクサンドル・デオフィル・アレクサンドル・スタンラン  
（高名な「シャ・ノワール」座近日来演のポスター）  
1896年 北海道立帯広美術館蔵

「キヤバレー」と芸術  
キヤバレー、と聞いて何を  
思い浮かべるでしょうか。華  
やかな映画の一場面？ 盛  
り場の狂騒？

まあ人それぞれに思い（と  
経験）は様々でしよう。なか  
には郷愁や感傷を抱いたり、  
微笑してしまう方も、ある  
いは眉をひそめる向きもあ  
るかも知れません。

いまの日本では「接待飲食  
業」という位置づけですが、  
もともとはフランスでの居  
酒屋が発祥。しだいに見世物  
や音楽、朗唱などの娯楽が付  
随する酒場としてヨーロッ  
パで興隆、発展したものです。  
そして、そうしたキヤバレー  
が、既成の権威に対抗する芸  
術の重要な舞台となつた時  
は、19世紀末のパリに光彩を  
放つた「黒猫」という名のキヤ  
バレーを中心に、前衛と娯楽  
をめぐる芸術家たちの、斬新  
な魅力あふれる創造の情熱  
を紹介します。

## パリ・モンマルトルの 退廃と享楽

世紀末の退廃とベルエポック  
（良き時代）の悦楽のなかで、  
さまざまな芸術が開花した

19世紀末～20世紀初頭のパ  
リ。世界各地から多くの美術  
家や作家、詩人、音楽家など  
若きアーティストたちを惹  
きつけたこの“芸術の都”  
の中心に位置したのが、歡樂  
の街としても賑わうモンマ  
ルトルでした。

そのモンマルトルの夜を彩つ  
たのが、ひしめくキヤバレー  
やカフェ・コンセール（ステー  
ジを設けた大型カフェ）、劇場、  
ダンスホール等々の酒場や  
興行です。夜ごとそこでは、  
寸劇、漫談、軽業、歌曲、舞踊、  
パンтомime、人形劇、サーカス

カスなど、多種多様の大衆的  
な娯楽文化が繰り広げられ、  
集まる人々の歓心を満たす  
享楽の場となつたのです。



ジョルジュ・ティレ＝ボニエ  
（シャ・ノワール座でのロドルフ・サリスのカリカチュア）  
1890年頃



（「ロバを引く女」影絵芝居の亜鉛版）1890年頃

## 芸術キヤバレー 「シャ・ノワール」

—今宵も急げ、黒猫へ！

そうしたなかで、1881  
年の秋、「芸術性」を売り物と



する新しいタイプのキャバレーが誕生します。野心家であり

美術家のロドルフ・サリスが、前衛的芸術家のリーダーであ

もあつた詩人工ミール・グドーを巻き込んで創業したキャバレー「シャ・ノワール(黒猫)」

は、「アンコエラン(支離滅裂な人々)」や「フュミニスト(冗談好き、不真面目)」と呼ばれる新進芸術家たち(画家、作家、

詩人、音楽家)の活動拠点となり、娛樂と芸術の融合する「芸術キヤバレー」として、た

ちまちのうちに幅広い人気と評判を得ました。

さらに「シャ・ノワール」では、多くの画家や作家が寄稿

する、ユーモアと諷刺を標榜した週刊新聞を発行して話題を呼びます。また、

1885年に新進画家リヴィ

エルらによつて始められた詩情あふれる影絵芝居は、シルエットの造形と動き、そ

して音楽が一体となつたスペクタクルで人々を魅了し、映画に先駆けた総合芸術として、ロー

トレック、ゴーガンらをはじめ同時代の美術家たちにも大きな影響を与えています。

### 新視点による 展覧会に注目

展覧会では「キャ



バレー「シャ・ノワ

ル」とアンコエラン派」「サー

カス」「カフェ、カフェ・コン

セール、公演」「前衛演劇とナ

ビ派」「象徴主義」という5部

構成で、モンマルトルを中心とした前衛芸術と大衆芸術を、

絵画や版画、ポスター、刊行物、影絵芝居の再現資料や映像など約180点により紹

えています。「シャ・ノワール」は、まさに娯楽と芸術が出会い、自由な芸術創造へと発展する地であつたのです。

ノワール」は、まさしく、自由な芸術創造へと発展する地であつたのです。

ひろしま美術館蔵



アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック  
《アリストディ・ブリュアン》1893年



エドワール・ドゥヴァン《ダンスホール「タバラン」》1905年頃



ピエール・ヴィダル《『モンマルトルの生活』の表紙》1897年



アンリ・ガブリエル・イベルス  
《サーカスにて》1893年



アルベル・ギヨーム  
《カフェ・コンセル、豚に乗る女》1905年頃

## 陶酔のパリ・モンマルトル 1880～1910 シャ・ノワール(黒猫)をめぐるキャバレー文化と芸術家たち

LE CHAT NOIR : Entertainment, Art and Culture in Paris 1880-1910

10月8日(土)～12月7日(水)

# 巨匠たちの饗宴

## 近代日本絵画

9月16日(金)～11月7日(月)

「ウッドワン」という名前は、北海道では耳慣れないですが、広島にある木質建材メーカーで、旧名を株式会社住建産業といいます。ウッドワン美術館は、平成8年にウッドワン所蔵の美術品を展示・公開する施設として、広島県廿日市市に開館しました。1000点にのぼるコレクションは、日本の近現代絵画、マイセン磁器、アール・ヌーヴォーのガラス、中国清代の陶磁器、薩摩焼など多岐にわたります。その半分以上を占めるのが、日本の近現代絵画で、絵画史に名を刻んだ画家たちの名作が数多くある充実した内容になっています。

肩掛けをした「麗子像」を複数描いています。この作品が美術館に新しく収藏・公開されたときには、広島市から30キロ以上離れた山間の美術館に2ヶ月で3万人以上の人が訪れたそうです。美人画で知られる上村松園の「舞支度」は、優雅で気品にあふれた作品です。京都国立近代美術館にほぼ同図の作品が収蔵されていますので、そちらを画集などで目にしたことがある方も多いと思います。

浅井忠、黒田清輝、藤島武二、青木繁、藤田嗣治、安井曾太郎、梅原龍三郎、



岸田劉生 毛糸肩掛せる麗子肖像 1920年

今回の展覧会では、近代日本絵画史上に大きな足跡を残した巨匠の作品ばかりを一堂にご紹介します。出品作の中で最もよく知られているのは岸田劉生の「毛糸肩掛せる麗子肖像」でしょう。劉生は、愛娘の肖像を数多く残しており、この赤い

肩掛けをした「麗子像」

を複数描いています。この作品が美術館に新しく収藏・公開されたときには、広島市から30キロ以上離れた山間の美術館に2ヶ月で3万人以上の人が訪れたそうです。美人画で知られる上村松園の「舞支度」は、優雅で気品にあふれた作品です。京都国立近代美術館にほぼ同図の作品が収蔵されていますので、そちらを

(佐藤由美加)

北海道立帯広美術館主任学芸員

※この展覧会は、9月9日(金)まで、  
北海道立旭川美術館で開催されています。



上村松園 舞支度 1914年



佐伯祐三など41作家の洋画48点。そして橋本雅邦、竹内栖鳳、横山大觀、速水御舟、東山魁夷、平山郁夫など33作家42点の日本画。選りすぐった巨匠の作品90点をご覧ください。北海道最後の観光・ドライブセンターに足を運んでいただきたいと思います。

# MUSEUM CALENDAR

2011.9～2012.3

美術館の特別展覧会ご案内

	9	10	11	12	1	2	3
近代美術館			9/12～1月末(予定) 改修工事のため休館			会期末定 創立60周年記念 北海道銀行コレクション	3/17～3/29 第5回 北海道 現代具象展
美三岸好太郎美術館		8/26～10/23 第3期所蔵品展 音楽のある美術館3		10/29～1/15 特別展 A★MUSE★LAND☆TOMORROW 2012 in MIGISHI Museum おばけのマヘルと絵のふしき		1/21～3/25 特別展 もう一人のミギシコウタロウと節子と	
旭川美術館	～9/9 ウッドワン 美術館名品選 巨匠たちの饗宴 日本近代絵画	9/16～11/13 北海道立近代美術館コレクションの華 シャガール、バスキンと エコール・ド・パリの綺羅星たち		11/20～2/12 生誕80周年記念 砂澤ビッキーポリヘドロンの世界ー		2/18～3/31 ヴォヤージュー風景の旅	
函館美術館	～9/19 函館美術館開館25周年記念 没後40年 田辺三重松展	9/22～9/28 第52回 北海道書道展 函館展	10/8～12/7 函館美術館開館25周年記念 陶酔のパリ・モンマルトル 1880～1910 シャノワール(黒猫)をめぐるキャバレー文化と芸術家たち		12/17～3/20 函館美術館開館25周年記念 道南美術の21世紀		
帯広美術館	～9/7 開館20周年記念 十勝の美術クロニクル	9/16～11/7 ウッドワン美術館名品選 巨匠たちの饗宴 －日本近代絵画－		11/22～2/1 北海道立近代美術館コレクションの華 シャガール、バスキンと エコール・ド・パリの綺羅星たち		2/10～3/31 所蔵品展 プリントアートの魅力	
釧路芸術館		9/3～11/7 釧路が育てた世界の画家 増田誠展		11/16～1/15 山形美術館 服部コレクション 20世紀フランス絵画展 ～画家たちの香り立つエスプリ～		1/25～3/25 日本を愛した写真家 土門拳の古寺巡礼	
美幌芸術の森		9/3～10/23 札幌芸術の森開園25周年記念事業 森と芸術		10/29～12/18 full flat ～アートから出てアートに出よ～ (仮称)		12/24～4/1 札幌美術展 リビングアート	
札幌彫刻新記念館			9/24～11/13 開館30周年記念 第15回本郷新賞受賞記念彫刻展		11/19～2/12 抽象具象彫刻60人展		

## 平成23年度の移動美術館ご案内

入場無料

北海道立近代美術館、三岸好太郎美術館をはじめ、旭川、函館、帯広、釧路の各道立美術館では、特色あるコレクションを持ち、地域に根ざした活動を行っています。道内各地を巡回する移動美術館は、この6館のコレクションを広く道民に紹介するものです。今回は近美コレクションから約40点の作品を精選し道内5会場で紹介します。

- 9月16日(金)～20日(火) 別海町中央公民館
- 9月23日(金)～27日(火) 西興部村公民館
- 10月 1日(土)～ 5日(水) 福島町福祉センター
- 10月 8日(土)～16日(日) 室蘭市民会館
- 10月19日(水)～23日(日) 真狩村公民館

## 近代美術館

### Northern Aspects #04 FANTASY 花田和治の色と形

平成24年2月3日(金)～3月11日(日)

表現を展開。さらに近年は自身の内面的なヴィジョンを投影し、ファンタジーの世界へと昇華させるなど、着実に表現を深めています。

花田和治は、1946(昭和21)年に札幌に生まれ、東京芸術大学および同大学院で油彩画を学びました。1974(昭和49)年に帰郷してからは、札幌を拠点に37年余りの長きにわたり、個展やグループ展を中心に行きを発表するなど、旺盛な制作活動を開催してきました。

1970年代の半ばにはハード・エッジ風の作品を試み、自身の抽象表現を確立させました。その後、身近な自然や風景に触発され、単純化された形態と明るい色彩によって抒情的な

軌跡を紹介するものです。厳しくも色鮮やかな北の自然からインスピレーションを得て、色彩と色面によって躍り上げた作者の絵画世界をこの機会にぜひお楽しみください。



花田和治《月夜》1982-83年  
北海道立近代美術館蔵

## 三岸好太郎美術館

### 特別展 「もう一人のミギシ」「ウタロウと節子と」 平成24年1月21日(土)～3月25日(日)

点によりその画業をたどります。寡黙にしてそこはかとなく漂い出るボエジーの魅力をご堪能いただければ幸いです。また、好太郎、節子の作品もあわせてご紹介します。この3人の芸術家との共通の資質や各々の個性について探る好機となるでしょう。

初日には  
父・三岸好太郎、母・三岸節子。この芸術家

夫妻の長男・三岸黄太郎(こうたろう)もまた、

長男で好

繼ぎつゝ、静物、風景を主要なテーマに研究をすすめ、静かに自己の道を歩みました。とりわけ、母・節子とともに暮らした北フランスの風土から生み出された風景は、シンプルな構成と繊細なマチエールで染み入るような詩心とエスプリをたえています。2009年暮、本展の開催を期しつつも、惜しくも79歳の生涯を終えられました。展覧会では1950年代から晩年までの約30



三岸黄太郎《夜の散歩道》1980年

## 旭川美術館

### 生誕80周年記念 砂澤ビックキー・ホリヘドロンの世界ー

11月20日(日)～平成24年2月12日(日)

旭川生まれの木彫刻家・砂澤ビックキー(1931～1989)の生誕80年を記念し、



砂澤ビックキー《集吸呼A》  
1986年 北海道立旭川美術館蔵

「ホリヘドロンの世界」と題し、その多様な造形世界を紹介します。

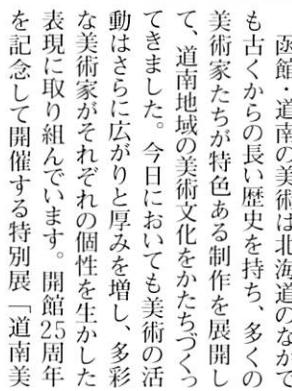
砂澤ビックキーは、20代半ばのとき、モダン・アート展に絵画を出品し始め、その後、有機的な形態による彫刻へと制作の重心を移しています。30代半ばには工芸的な仕事を精力的に携わり、40代半ばに音威子府村に招かれてからは、巨大な樹木を用いたダイナミックな彫刻にとりくむかたわら、(午前3時の玩具)や(樹華)のように繊細で静謐な趣をたたえた作品を生み出しています。

## 函館美術館

### (開館25周年記念) 特別展 道南美術の21世紀／常設展 道南美術－明治・大正・昭和

12月17日(土)～平成24年3月20日(火)

術の「21世紀」では、道南ゆかりのさまざまな分野の美術家たちの近作(2001年以降の制作)を中心とした現代の表現によつて、道南美術の「いま」と「明日」と展望し、あわせて開催する常設展(ミュージアム・コレクション)では、明治・大正・昭和の美術のあゆみを代表的所蔵品により概観します。



横山松三郎《菊》  
函館市蔵(函館美術館受託)【常設展】

# MUSEUM INFORMATION

## 帯広美術館

開館20周年記念

### 「コレクションのあゆみ」

11月22日(火)～平成24年3月31日(土)

当館は今年20周年をむかえます。この20年間、当館のコレクションは量も質も充実してきました。



佐藤克教《愚者の船(一)》 1995年

当館のコレクションの3つの柱は①十勝をはじめ釧路・根室・網走にゆかりの作家による「道東の美術」②版画や写真、グラフィック・デザインなど複製技術を用いた「プリントアート」、③バルビゾン派の作品を核に田園風景や農村風俗を主題とした「西洋の美術」。地元ゆかりの作家・作品への目くばりはもちろんのこと、5番目の道立美術館として特色あるコレクションを目指し、プリントアートの収集に力を入れています。また、十勝地方で酪農や農業が盛んなことから、景観や風俗に類似性のあるバルビゾン派などの作品も収集。現在690点にのぼる所蔵作品の中から厳選して、当館コレクションのあゆみをふり返ります。



《室生寺弥勒堂釈迦如来坐像》  
1966年 土門拳記念館蔵

## 釧路芸術館

### 日本を愛した写真家

#### 土門拳の古寺巡礼

平成24年1月25日(水)～3月25日(日)

建築や仏像の細部を思い切ってクローズアップし、時には光の点で暗闇の中に仏像を浮かび上がらせた数々の写真作品は、現代においてもなお不朽の名作として知られ見る者を魅了し続けています。本展は山形県の土門拳記念館所蔵の作品から約200点を出品、写真家が愛した日本の伝統美の姿を是非ご覧下さい。

写真家、土門拳は日本の写真史に大きな足跡を残した巨匠です。日本の伝統文化から社会性の高いテーマまで幅広い題材に取り組み、被写体に肉薄して大胆に切り取る表現により高い評価を受けました。とりわけ日本の仏像や寺院建築を被写体とした古寺巡礼シリーズは、作者にとって生涯のテーマとなりました。昭和14年の末に奈良県の室生寺を訪れてから、制作活動の末期の昭和53年までの期間に土門拳が撮影した地は、東北会津の勝常寺から九州臼杵の石仏まで全国各地に及びます。

## 本郷新記念札幌彫刻美術館

### 第15回本郷新賞受賞記念

#### 西野康造彫刻展

9月24日(土)～11月13日(日)

札幌彫刻美術館では、戦後日本の野外彫刻を牽引した彫刻家・本郷新(1905～1980)の功績を記念し、昭和58年度以来隔年で国内の優れた野外彫刻を対象に本郷新賞を贈ってきました。第15回目の今回は、今年4月札幌市にオープンした創成川公園に設置された西野康造(1951～京都府在住)の『スノーリング』が本賞を受賞。テレビ塔の東に位置し、創成川の東西を結ぶ橋の役目をもつた白いリング状の彫刻です。譲り合いの小さな会話を楽しみながら幅のせまい橋を渡つたりします。

西野康造《スノーリング》撮影:前澤良彰

ベンチのような部分に座つてひと休みしたり、訪れる人が思い思いにひとときを過ごすことのできる作品です。

本作の受賞を記念し、札幌彫刻美術館では西野康造の個展を開催します。

本作の受賞を記念し、札幌彫刻美術館では西野康造の個展を開催します。

本作の受賞を記念し、札幌彫刻美術館では西野康造の個展を開催します。

## 札幌芸術の森美術館

### 森と芸術

9月3日(土)～10月23日(日)

人間にとつて「森」とはどのような存在なのでしょうか。この展覧会は、16世紀から現代までの絵画・版画・写真・彫刻・工芸品・絵本・博物標本など約200点のなかに見られる多様なイメージを通して、森の意味と重要性を探ります。

たとえば、アダムとエバを描いたデューラーの『人類の堕落』や、グリムやアンデルセンなどの童話の世界、クロード・ロランに始まる情感めたかな風景画、植物文様をもつテール・ヌーヴォーのガラス器、シュルレアリズムの幻想的な作品群、最近では「もののけ姫」をはじめと

するアニメーションのテーマなど、森への思いは何世紀にもわたって様々なかたちで芸術作品として表現され続けています。また、北海道に暮らしながら自然を見つめ続けた砂澤ビックの彫刻や水越武の写真なども紹介します。本展は、豊かな自然のなかに新しい芸術環境を目指し1986年にオープンした札幌芸術の森の25周年を記念して開催します。



ポール・セリュジエ  
《ブルターニュのアンヌ女公への礼讃》  
1922年 ヤマザキマサック美術館蔵



## 三岸好太郎美術館 イベント・ピックアップ

三岸好太郎美術館では、秋から冬にかけて特別展だけでなく、音楽会やセミナーなど多彩なイベントが開催されます。これからのおもな催しを紹介します。

各イベントの詳細については、美術館にお問い合わせください。

### ●ミニ・リサイタル

三岸の作品『オーケストラ』にちなんだ音楽会。若手音楽家によって、展示室内で演奏されます。これらの予定は次のとおりです。

9月17日(土) 10月15日(土)  
2月25日(土) 3月24日(土)

(開演時間はいずれも 14 時から、入館者は無料です)

### ●オリジナル・スイーツ・デー

2010 年 3 月から年数回スイーツ・デーを設け、三岸作品にちなんだオリジナル・スイーツを、専門店の協力を得て限定販売。できれば、味とともに毎回好評。館内の喫茶コーナーでも、飲み物とともに召し上がれます。



これからのスイーツ・デーの予定

9月22日(木) 11月18日(金) 2月3日(金)

### ●ア・ミューズランド・トウモロー2012 おばけのマヘルと絵のふしき

10月29日(土)~1月15日(日)

毎年冬休みに開催しているアミューズランド。今回は近代美術館が改修工事中のため、会場を三岸好太郎美術館に移して開催します。人気の絵本『おばけのマヘル』シリーズの主人公マヘルと一緒に、絵の中のふしきを見つけましょう。

12月3日(土)はマヘル記念日。当館を舞台とした絵本『おばけのマヘルとちいさなびじゅつかん』(え・なかいれい/ぶん・けーたろう: 2008年) の発行記念日です。楽しいイベントの開催や素敵なプレゼントがあります。

## 道南美術館めぐり(1泊2日)募集中

10月14日(金)~10月15日(土)に「道南美術館めぐり」が開催されます。

道立函館美術館、北海道唯一の水墨画家の植木蒼悦記念館や、このたび復元された箱館奉行所など市内観光も合わせたツアーです。ぜひ誘い合わせてご参加ください。

申込み期間:9月12日(月)から16日(金)

旅行代金:24,800円(一般29,800円)

電話:011-223-5740 FAX:011-280-8386

## ご存知ですか?「美術への誘い」

協力会では、身近にアートを楽しんでもらい、多くの方に美術と美術館への関心を深めていただくことを目指して、ボランティア活動員による「美術への誘い」という館外活動を行っています。区民センターや地域のサークルなどに出向き、画家やその作品の分りやすい解説、楽しいイベントなどを企画・開催しています。

(10月以降、開催が確定しているもの)

11月10日 鳥雀の森 サロン(大通西23)

\*12月 3日 14:00~15:30 ソクラテスのカフェ(琴似メシアニカビル)

2月 9日 鳥雀の森 サロン

\* 2月22日 13:30~15:30 厚別区民センター

\* 3月 3日 14:00~15:30 ソクラテスのカフェ

3月 27日 介護予防センター 大通(南6西13)

\*印の会場は、一般の方も参加できます。詳細は各会場にお問い合わせください。

## 近美の名品図録が刊行されました



7月11日の北海道新聞(夕刊:文化欄)でも詳しく紹介されました。同美術館所蔵作品4000余点から100点を精選した

た図録「コレクションへの招待: 北海道立近代美術館名品100」が全国発売開始となりました。A5判フルカラー、146ページ、価格1,260円です。ぜひご購入ください。

※協力会員の方は館内売店または当協力会へお申し込みでは1割引きとなります。(送料290円)

## 北海道立近代美術館の改修工事について

近代美術館の改修工事に伴い、平成23年9月12日から平成24年1月頃まで休館となり、特別展と常設展を観覧することができませんが、他の道立美術館、札幌芸術の森美術館、及び本郷新記念彫刻美術館の観覧はできます。

なお、近代美術館の休館中は、売店も閉鎖となりますので、会員証の発行は事務局で行います。

# アルテピア・サロン

ホンモノに出会う楽しみ 中村 治子

映画、音楽、美術鑑賞などに夢中になつた若いころ、ある新聞記事が目に止まつた。新聞紙を敷きつめ、膝を抱えうすくまる独りの男性。今までに観たことのない絵だつた。

何故かホンモノを観たいとの思いが強くなり、そのことがきっかけで、旅に出ると美術館に足を運ぶようになつた。

近年、関西方面に旅行した折、大原美術館で、モネの「睡蓮」を観たが、私の抱いていたイメージとは違つた。

翌日、瀬戸内の直島へ行つた。古い家並の連なる小島は、アートの島と呼ばれおり、ある古民家で、千住博の作品「ザ・フォールズ」と出会つた。

天井からの滝は、廊下、床などに映つたすべてが一つの作品だという。

戸外は雨。どこまでも静かで青く深い滝。同化しそうな不思議な空間に時を忘れていた。

もうひとつ印象的な碧がある。メトロポリタン美術館で観たピカソの「青の時代」に描いた「自画像」だ。小ぶりだが、端整な顔立ち、ヒゲ、何でも見透かすような眼差しが強く心に残つている。

私のホンモノを観る心を呼び起こしてくれた作品、神田日勝の「室内風景」には「湿原の群馬」や絶筆となつた「半分の馬」とともに、彼のふる里、神田日勝記念館で会つことができた。

私の美術鑑賞は脈絡のない気がするし、観る目が磨かれているのか心許ないが、ホンモノに出会う楽しみは尽きない。

ホンモノを観たいとの思いが強くなり、そのことがきっかけで、旅に出ると美術館に足を運ぶようになつた。

近年、関西方面に旅行した折、大原美術館で、モネの「睡蓮」を観たが、私の抱いていたイメージとは違つた。

翌日、瀬戸内の直島へ行つた。古い家並の連なる小島は、アートの島と呼ばれおり、ある古民家で、千住博の作品「ザ・フォールズ」と出会つた。

天井からの滝は、廊下、床などに映つたすべてが一つの作品だという。

戸外は雨。どこまでも静かで青く深い滝。同化しそうな不思議な空間に時を忘れていた。

もうひとつ印象的な碧がある。メトロポリタン美術館で観たピカソの「青の時代」に描いた「自画像」だ。小ぶりだが、端整な顔立ち、ヒゲ、何でも見透かすような眼差しが強く心に残つている。

ホンモノを観たいとの思いが強くなり、そのことがきっかけで、旅に出ると美術館に足を運ぶようになつた。

近年、関西方面に旅行した折、大原美術館で、モネの「睡蓮」を観たが、私の抱いていたイメージとは違つた。

翌日、瀬戸内の直島へ行つた。古い家並の連なる小島は、アートの島と呼ばれおり、ある古民家で、千住博の作品「ザ・フォールズ」と出会つた。

天井からの滝は、廊下、床などに映つたすべてが一つの作品だという。

戸外は雨。どこまでも静かで青く深い滝。同化しそうな不思議な空間に時を忘れていた。

ホンモノを観たいとの思いが強くなり、そのことがきっかけで、旅に出ると美術館に足を運ぶようになつた。

近年、関西方面に旅行した折、大原美術館で、モネの「睡蓮」を観たが、私の抱いていたイメージとは違つた。

翌日、瀬戸内の直島へ行つた。古い家並の連なる小島は、アートの島と呼ばれおり、ある古民家で、千住博の作品「ザ・フォールズ」と出会つた。

天井からの滝は、廊下、床などに映つたすべてが一つの作品だという。

戸外は雨。どこまでも静かで青く深い滝。同化しそうな不思議な空間に時を忘れていた。

## 新会員紹介

2011年3月～2011年7月・敬称略

ご入会ありがとうございました

3月

札幌市 佐野浩  
〃 佐藤京子  
〃 沈彦伶  
〃 岩渕弘子  
〃 森淑子  
〃 西岡均

札幌市 浜下洋司

〃 藤井裕之  
〃 岡壮樹  
〃 篠田昭子  
〃 菖蒲まち子  
〃 佐藤美紀子  
〃 久保勝美

札幌市 矢口絵美子

〃 水上侑子  
〃 佐藤美保子  
〃 北浜房子

札幌市 木村幸子

寿都町 佐藤明

7月

札幌市 照井はるみ  
〃 関谷祐治  
〃 井尻哲男  
〃 金眞知子  
〃 鈴木瑠以子  
〃 中村良子  
〃 辻博勝  
〃 荒清次  
小樽市 松羅順子

4月

札幌市 国陶たやか  
〃 下村嘉子  
〃 阿部壽美子  
〃 関谷和代  
〃 井上敦子  
〃 星野紀子

伊達市 堅田進

小樽市 堀内奎井子  
〃 中澤まみ  
〃 中澤浩  
〃 堂下芳恵

6月

札幌市 上田まゆみ  
〃 深尾加那  
〃 橋田拓子  
〃 寺田サチ子  
〃 神谷久子  
〃 高間英子  
〃 岡田公夫  
〃 岡田孝子  
〃 木村隆夫

札幌市 上田まゆみ  
〃 深尾加那  
〃 橋田拓子  
〃 寺田サチ子  
〃 神谷久子  
〃 高間英子  
〃 岡田公夫  
〃 岡田孝子  
〃 木村隆夫

5月

札幌市 中澤まみ  
〃 中澤浩  
〃 堂下芳恵

## 法人会員紹介

—ご協力誠にありがとうございます—

サッポロビル(株)北海道本社 北海道銀行 ホテル・ライフォート札幌 中西印刷(株) (社)北海道私立幼稚園協会  
(社)北方圏センター (株)六書堂 (株)南香園 (株)光映堂シーエーピー アトリエ・ルートスリー 東海大学旭川校舎  
北洋ビル管理(株) (財)北海道埋蔵文化財センター 北海道文化放送(株) (財)北海道教職員厚生会  
トップ・ツアーア(株)札幌支店 (株)北洋銀行 オンワード樫山福祉共済センター 北海道土質コンサルタント(株)  
ノースパシフィック(株) 北洋システム開発(株) 交洋不動産(株) (株)札幌北洋カード (株)北海道新聞社  
(株)道新文化センター (有)内藤表具工房 (株)HBA (株)道新中西販売所 (株)どうしん厚別販売センター  
(株)道新サービスセンター (財)札幌市芸術文化財団芸術の森美術館 三菱電機(株)北海道支社  
(財)エム・オー・エー美術文化財団北海道支部 (株)三好商会 北洋ビジネスサービス(株) 大丸藤井(株)  
日本通運(株)札幌西支店 国土交通省共済組合札幌管区気象台 北栄保険サービス(株) JR北海道  
近畿ツーリスト(株)北海道イベント・コンベンション支店 法務省共済組合札幌法務局 北海電気工事(株) 札幌通運(株)  
岩橋印刷(株) 辻中倉庫 NPO法人 かかわり教室

(2011年7月末日現在・敬称略・順不同)

# 事務局だより

## 平成23年度 通常総会の報告

去る5月26日、道立近代美術館講堂において通常総会が開催され、会長の挨拶に続き議案の審議がおこなわれ承認可決された。なお開会に先立ち、東日本大震災で亡くなられた方々へ黙とうを捧げました。総会終了後は会場を1階ロビーに移して、恒例の「つどい2011」が催された。

### 吉野会長 挨拶要旨

皆様には日頃から当協会の諸活動に積極的に参加され、会の運営をリードされていますことに、改めて厚くお礼申し上げます。ただいま、黙とうを捧げましたが、3月11日に発生した東日本大震災は、かつてないほどの被害をもたらしました。被災された方々には、心からお見舞い申し上げますとともに、一刻も早い復興を願っております。

昨年度の活動につきましては皆様の積極的な参加により、予定通り執行され大きな成果を挙げたものと感謝申し上げます。本年度も各種の活動を通して、北海道の美術館の発展に貢献していきたいと考えておりますので、更なるご支援をいただきたく存じます。

### 議案審議の概要

#### 議案第1号

平成22年度事業及び収支決算については、報告の通り承認可決された。事業実施状況については、ほぼ当初の計画通りに進めることができた。

##### ・事業報告の概要（収支決算については表1の通り）

- 1 ボランティア活動員による道立美術館への協力は延べ8,200名を超え、例年通りそれぞれの事業分野で充実した活動となつた。
- 2 会員証利用による観覧料は約471万円で、昨年に比べて144万円の減額となつた。
- 3 芸術週間への事業協力については、「フジタの肖像」の作者モディリアーニを映画化した「モンパルナスの灯」の上映や、秋の呈茶会への共催事業を実施した。
- 4 近代美術館前庭及び知事公館に設置されている野外彫刻の清掃について、今年度から新規事業として取り組み、年2回実施した。
- 5 美術講座については216名が受講。この内13名が4月から、ボランティア活動員として活動している。
- 6 「つどい2011」は参加費を2,000円に下げたこともあり、前年より4割増の143名が参加した。
- 7 新規事業として、子ども美術館鑑賞事業を実施。札幌市立光洋小学校6年生全員の95名を美術館に招待。
- 8 美術研修旅行については、国内は東北3県、海外は北イタリアを予定通り実施した。
- 9 「学生美術全道展」で最優秀賞に輝いたおといねつぶ美術工芸高等学校3年高沢皓さんに「美術館協力会賞」を、「第4回U21展」では優秀作品の札幌大谷大学短期大学部、河合春香さんに賞状と盾を授与した。

10 法人設立30周年記念事業として計画した絵画の寄贈については遅れていたが、モディリアーニの「フジタの肖像」を予定通り購入することができ、10月19日に道庁知事室において、吉野会長から高橋知事に贈呈した。

#### 議案第2号

平成23年度の事業計画及び予算案は、原案通り承認可決された。基本的には平成22年度事業に沿った計画となっている。本年度は改修工事が実施され、秋口から年末にかけて休館になるため、支障のない範囲で計画実施する。

##### ・事業計画の概要（収支予算については表2の通り）

- 1 昨年から始まった野外彫刻の清掃事業は、2回実施する。
- 2 近代美術館では最新の所蔵作品を含めた新しい図録を監修、発行について要請があり、1,500部を1冊1,260円で販売する。
- 3 「近代美術館・三岸美術館・知事公館ぐるっと3館鑑賞ツアー」の実施。本年4月から両美術館の運営が一体化され、近代美術館が一括管理することになった。これに伴い常設展については両館の共通観覧が出来ることになり、これを記念して知事公館を含めた鑑賞ツアーを6月に3日間実施する。
- 4 改修工事の関係で、美術講座は開始時期を早め、4月から実施している。現在256名が受講中。
- 5 国内旅行は、6月に予定していたが、東日本大震災のため中止。海外研修は9月に韓国を予定。道内研修旅行を10月に予定している。
- 6 藤田夫人が所有していた、歴史的にも貴重な藤田嗣治の「君代と父の肖像」を購入する。

(表1)平成22年度収支決算総括表(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位:円)

収入の部					支出の部					
科目	合計	一般会計	特別会計		内部取引消去	科目	合計	一般会計	特別会計	
			売店会計	駐車場会計					売店会計	駐車場会計
基本財産運用収入	9,000	9,000	0	0	0	事業費支出	55,515,798	19,540,022	23,386,334	12,589,442
特別収入	8,639	8,639	0	0	0	管理費支出	6,466,825	6,466,825	0	0
会費収入	10,094,000	10,094,000	0	0	0	特定資産取得支出	8,639	8,639	0	0
事業収入	46,404,838	14,046,000	20,526,884	11,831,954	0	他会計への繰入支出	1,000,000	1,000,000	0	0
寄付金収入	50,000	50,000	0	0	0	当期支出手合計	62,991,262	27,015,486	23,386,334	12,589,442
特定資産取崩収入	2,300,000	2,300,000	0	0	0	当期収支差額	△2,868,351	△253,077	△1,859,066	△756,208
他会計からの繰入収入	1,000,000	0	1,000,000	0	0	次期繰越収支差額	547,528	313,162	187,453	46,913
雑収入	256,434	254,770	384	1,280	0	支出合計(B)	63,538,790	27,328,648	23,573,787	12,636,355
当期収入合計	60,122,911	26,762,409	21,527,268	11,833,234	0	予算額(A)	62,435,000	25,526,000	25,056,000	11,853,000
前期繰越収支差額	3,415,879	566,239	2,046,519	803,121	0	差異(A-B)	△1,103,790	△1,802,648	1,482,213	△783,355
収入合計(B)	63,538,790	27,328,648	23,573,787	12,636,355	0	( )内 内数				
予算額(A)	62,435,000	25,526,000	25,056,000	11,853,000	0					
差異(A-B)	△1,103,790	△1,802,648	1,482,213	△783,355	0					

(表2)平成23年度収支予算総括表(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

(単位:千円)

区分	収入の部				支出の部				備考
	科目	予算額	前年度予算額	差異	科 目	予算額	前年度予算額	差異	
一般会計	基本財産運用収入	10	10	0	定期預金利息	事業支出	12,420	18,160	△5,740
	特別収入	10	50	△40	美術振興基金利息	美術館活動協力事業費	5,958	4,858	1,100
	会費収入	9,864	10,090	△226	法人、個人会員等年会費	30周年記念事業費	0	12,500	△12,500
	事業収入	1,580	13,780	△12,200	美術講座受講料・つどい会費等	美術講座等開催事業費	660	700	△40
	寄付金収入	10	10	0	美術修復修築事業費	美術修復修築事業費	42	42	0
	雑収入	11	20	△9	普通預金利息	美術優秀制作撮影事業	60	60	0
	他会計からの繰入収入	0	0	0		絵画購入事業費	5,700	0	5,700
	特定資産取崩収入	7,700	1,000	6,700		管理費支出	6,199	6,349	△150
	当期収入合計	19,185	24,960	△5,775		特定資産取得支出	0	0	0
	前期繰越収支差額	313	566	△253		当期支出手合計	18,619	24,509	△5,890
特別会計	収入合計	19,498	25,526	△6,028		当期収支差額	566	451	115
	売店会計	売上収入等	16,000	23,000	△7,000	次期繰越収支差額	879	1,017	△138
		雑収入	1	10	△9	支出合計	19,498	25,526	△6,028
		当期収入合計	16,001	23,010	△7,009				
	駐車場会計	前期繰越収支差額	187	2,046	△1,859				
特別会計		収入合計	16,188	25,056	△8,868				
	駐車場会計	駐車料金収入	10,830	11,040	△210	駐車場利用収入	事業費支出	10,818	10,932
		雑収入	1	10	△9	預金利息	他会計への繰入支出	0	0
		当期収入合計	10,831	11,050	△219		当期支出手合計	10,818	10,932
		前期繰越収支差額	46	803	△757		当期収支差額	13	118
		収入合計	10,877	11,853	△976		次期繰越収支差額	59	921
	内部取引消去	0	0	0		支出合計	10,877	11,853	△976
	総合計	46,563	62,435	△15,872					

## つどい 2011

第28回「つどい」は新緑のまぶしい5月26日、美術館協力会通常総会終了後、美術館1階ホールにおいて開催されました。

本年度は東日本大震災の復興支援を念頭に役員・会員同士の親睦を目的としたあたたかみのある会となりました。各部ボランティアの日頃の活動報告や役員紹介などのプログラムがすす



み、和やかな雰囲気のなかで談笑や料理を楽しみました。

また当日は会場に復興支援を願い募金箱を設置させていただき、多くの方から心のこもったご支援を頂戴しました。

## ボランティア交流会 開催される

第14回北海道美術館ボランティア交流会は、美術館協力会「アルテピア」が担当館となり、去る7月23日、近美・ロイトン札幌にて開催しました。

当日は全道の美術館ボランティア約150人が参集し、美術館講堂において、北大大学院、教授木村純氏による「美術館の学びとボランティア」についての講演、つづいて当美術館学芸員学芸第3課長、中村聖司氏の「地上の天宮 北京・故宮博物院展」オリエンテーション及び展覧を行いま



した。その後ロイトン札幌において「交流研修会・懇親会」が行なわれ、各美術館ボランティア代表者から日頃のボランティア活動の現状についての報告があり、各テーブルでは和やかに交流を深めていました。

## アルテピア ニュース

7月23日から8月21日まで近代美術館ではミュージアム・スクール2011が開催されました。アート・オリエンテーリング、ミニ・アトリエ、パックヤード&ギャラリー・クルーズ、ワークショップが行われ、親子連れなど沢山の方が近美再発見を楽しみました。

写真はミニ・アトリエの様子です。参加者はバティシ工芸分で、カラフルな軽量粘土を使って、ちっちゃなストラップをつくりました。

## ミュージアム・スクール 2011 美術館クルーズ、アートの海の宝島へ!!



## ことしは洞爺湖へ 一ボランティアの全体研修一

ボランティアの資質の向上を図るために毎年実施している全体研修は、5月23日、102人の参加を得て洞爺湖畔に点在する彫刻を鑑賞しました。

湖畔の彫刻は全部で58基、安田侃、佐藤忠良、二部黎、などの作品が人気のようでした。また、洞爺芸術館では、洞爺村国際彫刻ビエンナーレ入選作品や、写真家、並木萬理の作品が展示されていましたが、なかでも、北海道が生んだ彫刻家砂澤ビッキの諸作品が多く注目を集めました。



## 編集だより

詩人ボードレールは日本の茶器を愛用していた。庶民派大統領シラクは大の相撲ファンだった。

「この国の文化は魅力的だ」日本新発見の起爆となった浮世絵、このたびの「図録」(本誌P8で紹介)にはこの項が加わり、より魅力的になった。ぜひご購入を。

圧倒的な体力差による怒濤の攻撃を浴びせられ、負けを納得してもいいのに総員攻めダルマとなって喰らいついて行く。それでいて笑顔でPK戦を迎える。チャンピオンに。「この国の人たちはすばらしい」日本再発見の驚きと好感も広く長く続いている。(U)

## 「風景画、静物画の誕生」

風景画の前にたたずむと、ほっとして心が和むという方が多いのではないでしょうか。風景や静物が独立した画題となったのは、17世紀のオランダ。それまでは風景は神話や宗教画等の背景や添画として、静物は主題の付属物あるいは象徴として描かれるにすぎなかった。オランダは17世紀初めスペインの支配を脱して独立。この若い国を支えたのは、海外貿易による富を背景とした商工業を中心とする中産市民層であった。

共和制により貴族や教会などの後ろ盾を失った画家たちは、市民が素直に理解できる親しみのある小ぶりな絵を描き、市場で売るようになる。人々は静物や日常生活の風俗、海、田園など身近な風土を描いた絵を競って居間や食堂に飾った。それがきっかけとなり、風景画、静物画がジャンルとして確立したのである。(Y)

ひとくち  
メモ

